



2023年1月17日(火)

苫小牧港開発株式会社

北海道エアポート株式会社

大雪等による新千歳空港滞留者緩和に向けた 新サービスの開始について

苫小牧港開発株式会社（本社：苫小牧市、代表取締役社長：関根久修）と北海道エアポート株式会社（本社：千歳市、代表取締役社長：蒲生猛、略称：HAP）は、2023年1月17日より、大雪等により新千歳空港で多数の出発便の欠航が見込まれる場合に、苫小牧港に就航する本州向けフェリーとの連携強化を図り、空港滞留者緩和に向けた新たなサービスを開始致しました。

北海道運輸局（本局：札幌市、局長：岩城宏幸）とHAPは、昨年「大雪等による新千歳空港滞留者解消連携会議」を開催し、関係機関のご協力を得て、今冬より、札幌大谷地バスターミナルへの連絡バス緊急ピストン輸送や、新たな情報共有体制構築等の対策に取り組んでおりますが、今般、空港と港湾が近接地に立地するダブルポートの利点を活かし、本州方面への移動をご希望されるお客さま向けに、新たに以下のサービスをご提供するものです。

概要

①新千歳空港内における苫小牧港就航路線の情報提供

- 苫小牧西港：八戸、仙台・名古屋、大洗
- 苫小牧東港：秋田・新潟・敦賀
- ※フェリー各社では、当日予約にも柔軟な対応を行う予定をしております。

②苫小牧西港行き専用連絡バスの臨時運行

- 運行主体：苫小牧港開発株式会社
- 料金：無料
- 運行時間：新千歳空港 15時発・17時発の2便（2番のりば）
- 協力会社：道南バス株式会社
- ※本州方面向けの新千歳空港出発便に多くの欠航が予定され、苫小牧西港を出航するフェリーへの振替利用が見込まれる場合に運行致します。
- ※連絡バスの乗車場所につきましては、当日の天候により変更となる可能性がございます。
<https://www.new-chitose-airport.jp/ja/access/bus/>（「バス乗降場所」ご参照）

<本件に関するお問い合わせ>

苫小牧港開発株式会社 ターミナル事業部 企画営業課（直通：0144-33-1186）
北海道エアポート株式会社 総務・人事部 広報課（代表：0123-46-2990）